

デジラボおきなわ未来のIT人材創造プログラム

PLAZMA Inc. 株式会社プラズマ



所在地 ● 沖縄県南城市玉城當山117 TEL ● 050-5534-0519 MAIL ● info@plazma.co.jp

事業目的

- ・AI時代では、スキルや能力だけでなく対話力、表現力や言語活用が必要になることを知る。
- ・ためこむ知識よりも人と人のつながりや、ホンモノに触れる体験や経験が重要になることを体験を通して気づく。
- ・学ぶ場所は無限に広がるので、興味関心を持つことが最も重要になることを親子で共有する。
- ・ITスキルを有する「作業者」を育成するのではなく、創造することの面白さに気付くような体験の機会を、子どもたちや保護者、IT指導者と共有する。



事業内容

- 1 ワークショップ(こども体験教室・おとなのIT勉強会)
 - ・オンライン
(テレビ会議による遠隔)
 - ・オフライン(対面)
 - ①那覇市開催
 - ②座間味村開催
- 2 シンポジウム
 - ・子どもたちの創造体験成果報告会
 - ・指導者たちのIT人材育成事例紹介
 - ・未来のIT人材創造パネルディスカッション
- 3 オンデマンドコンテンツ配信
 - ・IT人材育成動画を教育機関等に提供
(自社開発の映像プラットフォーム
キャリアスペース (<https://careerspace.jp/>))を活用



事業成果

1. イベントの実施回数及び参加者数

	取り組み	実施回数	参加者数
ワーク ショップ	①体験教室 (対面開催・オンライン開催)	オンライン24回 対面／本島7回 対面／離島1回	132名
	②おとなのIT勉強会 (教員や保護者、一般向けの研修)	本島1回 離島0回(※)	22名
シンポ ジウム	③子どもたちの創造体験成果報告会	2回	76名
	④指導者たちのIT人材育成事例紹介	1回	
	⑤未来のIT人材創造 パネルディスカッション	1回	
オンデ マンド	⑥(株)プラズマのIT人材育成 動画コンテンツをオンデマンド提供		再生回数 323回
	実績合計	31回	553名
	当初目標	17回	600名
	達成率	182. 3%	92. 2%

※おとなのIT勉強会の離島開催0回は、海況不良で高速船欠航により開催見送りとなった

2. 参加者の学び

本プログラムで開催した体験教室で初めてプログラミングに触れた子どもの中から、全国大会の予選である沖縄地方大会に挑戦する子どもを輩出することができた。準グランプリとなり、惜しくも全国大会への切符を手にするが出来なかった。グランプリを受賞した小学校1年生は2024年3月に東京都品川で開催される全国大会に出場する予定となっている。本プログラムでは楽しみながら体験する機会を参加者に提供し、ITの経験のほとんどない子どもたちにその学びや気づきを促し一定の成果を上げることができた。



3 取り組み重点と成果

	課題	対応策
1	事業収益性	<p>受益者負担でのIT人材育成ビジネスの自走は非常に難しい。</p> <p>本事業において、県内外のCSR活動を重視する協賛企業の獲得に注力した。参加者のみならず協賛企業の職員のご家庭のお子さんにも学びの価値を提供することで、協賛企業のご協力を得ることが出来た。</p>
2	集客	<p>体験教室のオンライン、オフラインの適切な使い分け開催により離島参加者への柔軟な対応が可能となった。特に宮古島からの子どもたちは初学者であるにも関わらず、粘り強く継続的に体験教室に参加することで、コンテストにも挑戦し、準グランプリを受賞することが出来た。</p> <p>自治体や教育委員会、学校教員、保護者組織とのパイプを強化に注力し、本年度のイベントにおいて学校現場の教員や地域課外活動を支える民間のIT人材育成指導者の皆さんに登壇いただいた。また沖縄県教育委員会の後援やPTA連合による協力をいただいたおかげで、さらなる参加者数増を図ることができた。</p>
3	事業効率化	<p>実施するワークショップ教材の標準化とプログラム内容の体系化により業務効率化と省力化、準備リードタイム短縮を実現できたため、事業予算を子どもたちの体験機会の提供のために効率的かつ優先的にまわすことが可能となった。</p>



今後の展開

- 1 AI時代の先の読みにくい時代変化に合わせた、子どもたちの創造性伸長への貢献
 - ・本年度に実施した Open AI/GPT4や機械学習をはじめとした体験機会で、子どもでも十分に楽しめる体験プログラムの提供が可能であることがわかった。
今後も時代に合わせた子どもたちが楽しめる体験プログラムを提供していく。
 - ・パソコンやアプリケーションを操作するだけのスキルアップだけを狙うのではなく、子どもたちの純粋な「なぜ」や「面白い」という気持ちを引き出す働きかけを重視した結果、わずかな解説の時間で、子どもたちが主体的に体験にのぞむ態度と深い集中力を発揮できることがわかった。今後も子どもたちの主体的で深い学びを実現するために体験プログラムの充実を図っていく。
 - ・働く大人たちのシゴトのお話しや社会の変化、イーロン・マスクの SpaceX事業のように何度も失敗と挑戦を繰り返す粘り強さに関するお話しが、子どもたちや大人たちにとっても響くことがわかった。単なるスキル習得や表面的な啓発でなく、参加者の内面に働きかける取り組みを継続していく。

2 連携強化と事業性の向上

- ・これまで本事業に賛同いただいた多様な団体との連携をより深め、未来の IT人材やデジタルクリエイターの育成に取り組むことが出来た。今後は、これまで以上に連携を強化し、収益性を向上することで取り組みを発展させていく。

「デジラボおきなわ こどもIT・プログラミング発表会」

(全国新聞社事業協議会主催「全国選抜小学生プログラミング大会」沖縄地区代表選考会)

- ・共催： 琉球大学教育学部、琉球新報社
- ・後援： 沖縄県教育委員会、沖縄県、那覇市、在沖米国総領事館、
沖縄ITイノベーション戦略センター(ISCO)、一般社団法人沖縄県情報産業協会(IIA)

実施プログラムのようす

那覇市銘苅で開催した体験教室

沖縄県教育委員会、那覇市による後援とTA連合会の協力により、学校だけでなくTAへの参加の呼びかけができたおかげで、親子参加による「教え合い、学び合い、助け合い」によるプログラミング体験が実現しました。



ワークショップのようす

Scratch プログラミング(初心者向け)

プログラミングに対してまったくの未経験児童を対象とした体験教室。プログラミングスキルだけでなく、いかに観客を楽しませるか、作品発表を通して表現力を身につける。



AI プログラミング／機械学習(画像解析)

ノートPCに搭載されたカメラに向かって児童が指をかざす方向を指し示すと、事前に集積した機械学習データベースにより、指示した方向へオブジェクトを移動させることができる。



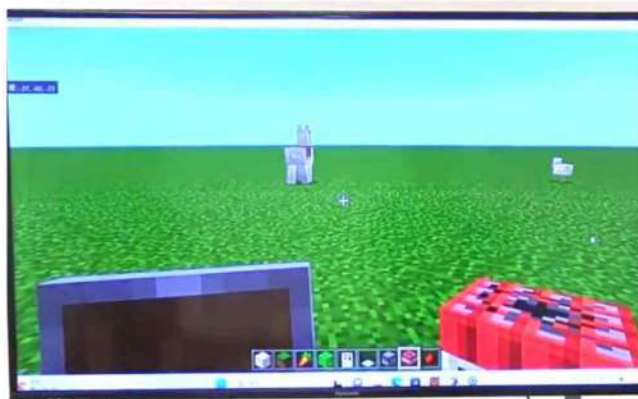
座間味島で開催した体験教室

座間味村教育委員会の後援と協力により、慶留間島、阿嘉島、座間味島の各学校の児童・生徒や保護者センサーロボットのプログラミング体験教室についての周知をしていただいた。そのおかげで、親子同伴参加が多く見られた。当日は悪天候で那覇に戻る高速船が欠航となってしまい、計画より短い時間だったが、子どもたちの集中力が素晴らしく想定以上の充実した体験教室となった。非常に好評だったため、次年度以降も開催の要望を受けた。



その他の体験教室

マイクラフトやOpen-AI/Chat GPT「なんでも答えるAIせんせい」の制作体験のようす。特にマイクラフトは人気が高く、すでに多くの子どもたちが触れているため導入がしやすい題材である。マイクラとプログラミングと組み合わせることにより大規模建築の自動化ができるため、子どもたちにとっては関心が高かった。



シンポジウム

子どもたちの創造体験成果報告会

イベント: デジラボおきなわこどもITプログラミング発表会

全国新聞社事業協議会が主催する
「全国選抜小学生プログラミング大会」の沖縄地方大会

発表者のみなさん



TEAM-MIYAKOJIMA
(左)りょうまさん 平一小4年
(右)あおいさん 久松小4年



かずきさん
大山小4年



ゆうさん
高嶺小1年



じゅりおんさん
宮森小1年



ゆうとさん
城前小3年



たかとしさん
仲西小5年

審査員のみなさん



沖縄県情報産業協会
(IIA)事務局長
渡真利 様



琉球大学教育学部
(数学)
日熊 様



沖縄県商工労働部
情報産業振興課
下地 様

グランプリ: ゆうさん(小1) 全国大会派遣決定



準グランプリ: Team MIYAKOJIMA(小4ペア)



指導者たちのIT人材育成事例紹介

講師のみなさん



Dr.プラタップ
アロック
Optimus Tek
Lab, Founder &
Mentor



新垣 隆香
浦添工業高校
デザイン科 教諭



立津 慶幸
名城大学 人間健
康学部健康情報
学科上級准教授
Tymewise合同会
社代表社員



山元 淑乃
琉球大学グロー
バル教育支援機
構 准教授



Dr. オスワルド
カストロ ロメロ
EIC沖縄共同設
立者/EdTech
スペシャリスト



新村 彰英
公立中学校
技術・家庭科教員



東江 あやか
琉球大学
地域連携推進機構
特命助教

オンデマンドコンテンツ

株式会社プラズマが集積する動画コンテンツを配信自社開発の映像プラットフォーム <https://careerspace.jp> を活用

